

たてくろジオノ

発行:立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町 5-5 タワー1 1 1 ビル 1 階

1 076-482-3204 **3**076-431-2089

f https://facebook.com/tatekuro

日本ジオパーク全国大会2019おおいた大会に参加しました

10月31日(木)~11月5日(火)にかけて、大分県にて第10回日本ジオパーク全国大会が開催されま した。今回の大会のテーマは「Wa!~「わ」を体験しよう!~」。驚きや感動の「ワッ!」、自然と人との 調和の「和」、人と人とのつながりの「輪」の3つの「Wa!」の体験・実感に加えて、「伝える」ではなく 「伝**わ**る」ことを意識した活動へと広げていくことが宣言されました。立山黒部ジオパークからは9名(協 会から6名、支援自治体から3名)が参加し、口頭発表やポスター発表での活動事例紹介や体験ブースで のワークショップなどを行いました。また、他地域のジオパークの方々と意見交換を行ったり、講演会や ポストツアーなどに参加しました。今回の全国大会で得られた情報を、今後の立山黒部ジオパークの活動 に活かしていきたいと思います。











□頭発表、ポスター発表、ワークショップ





閉会セレモニー





ポストジオツアー



回中部ブロック大会が開催されました

11月23日(土)、24日(日)に新潟県の佐渡ジオパークにて、第7回日本ジオパーク中部ブロック大 会が開催されました。当日は、甲信越中部エリアからジオパーク準備地域を含めた 10 地域が参加し、各 ジオパークが展開する商業的取り組みやガイドツアーについて事例発表や活発な議論が行われました。立 山黒部ジオパークからは3名(事務局2名、ジオガイド1名)が参加し、立山黒部ジオパークが展開する ガイド付き商業ジオツアーについて、そのメリット・課題について情報提供を行いました。2日目には、 佐渡の金銀山や国中平野を訪れるモニターツアーが開催されました。ツアー終了後、ツアーのブラッシュ アップを図るべくグループで振り返りが行われ、ツアーテーマの整理や行程の組み立て方などについて多 くの意見が出されていました。







立山黒部ジオパークシンポジウムを開催しました

11月19日(火)に、TOYAMAキラリ9階のファーストバ ンクキラリホールにて、地域資源の「保全」と「活用」をテーマ にしたシンポジウムを開催しました。

基調講演ではフォッサマグナミュージアム館長の竹之内 耕 氏 による講演「糸魚川ユネスコ世界ジオパークの保全への取組み」 において、糸魚川ユネスコ世界ジオパークで地域の宝ものを守り ながら活用していくための取組みについて具体的な事例を交えな がらお話いただきました。

パネルディスカッションでは、立山黒部ジオパーク協会保全部 会会長の鍛治 哲郎 氏にコーディネーターを務めていただき、4 人のパネリストの方々がこれまで取り組んできた活動についての 話題をベースに、地域の宝ものの価値を伝えるガイドの役割や重 要性、課題等についてディスカッションを行いました。また、会 場の参加者からは、地域資源の保全を行うにはその価値を知るた めの教育が重要だという意見や、立山黒部ジオパークエリア内の 魅力を知ることができる拠点施設がわかりにくいといった意見が 出されました。

今回のシンポジウムが「富山の宝もの」について意識して考え るきっかけの一つになればと思います。





基調講演





ロビー展示の様子



■富山県防災士会と協定を締結しました

10月7日(月)に富山県防災士会と、防災・減災に関する啓発活動の連携・協力について協定を締結しました。富山県防災士会は防災士の資格をもつ方々が集まって設立された特定非営利活動法人で、防災・減災に関する一般市民への啓発活動や、会員のスキルアップなど、災害に強い社会の実現のために活動されています。立山黒部ジオパークでも防災・減災に向けた取り組みは重要な活動の一つです。今後お互いに協力しながら、災害に強く持続可能な社会の実現に貢献していきたいと思います。



■「TKGジオカフェ in カフェアンドアニモ」を開催しました

11月20日(水)に、魚津市新金屋の「カフェアンドアニモ cafe & animo」にて、"ジオカフェ"を開催しました。"ジオカフェ"とは、立山黒部ジオパークや会場のお店、当日の話題に興味のある人が地元にある飲食店に集まり、食事や飲み物を楽しみながら提供された話題や地域のことについて語りあう活動です。

カフェアンドアニモさんの地域の食材が盛り沢山のワンプレートごはんを楽しんだ後、ゲストスピーカー、魚津埋没林博物館学芸員の佐藤 真樹さんのお話を聞きました。日々熱心に蜃気楼の研究と普及啓発に取り組んでいる佐藤さんからは、蜃気楼についての基礎知識から観測の苦労話までいろいろなお話を聞くことができました。また、ウォッカとトニックウォーターを使った蜃気楼実験もあり、楽しい時間を過ごすことができました。



魚津市新金屋 2 丁目 8-1 TEL:0765-23-1130 11:00 ~ 16:30 (LO. 16:00) 定休日:月曜日 地域の食材を使用した栄養満点のランチが楽しめるお店です。 店内にはかわいい子ども服もあります。

アンドアニモ cafe & animo

★12月のジオカフェのお知らせ・・・・・

入善町のカフェ居酒屋TREEで今年最後のTKGジオカフェを開催します。また、魚津埋没林博物館エントランスにて、まいはくカフェ&ジオカフェを開催します。皆さまの参加をお待ちしております!

まいはくカフェ&ジオカフェ 「魚津埋没林」って何だろう?

日 時:12月14日(土)11:00~12:00

場 所:魚津埋没林博物館エントランス

講 師:打越山 詩子 さん

(立山黒部ジオパーク協会専門員)

参加費: 500 円 (カフェ KININARU コーヒー& クッキー付き)

定 員:20名(事前の申込みが必要です)

【お申込み・お問合せ先】

魚津埋没林博物館 TEL: 0765-22-1049

「TKGジオカフェ in TREE」

日 時:12月18日(水)19:00~21:00

場 所:カフェ居酒屋 TREE(ツリー)

入善町入膳 5232-5 うるおい館 1F

講 師:水嶋 一雄 さん (黒部川扇状地研究所 所長)

参加費:1,500円(食事代)

定 員:20名(事前の申込みが必要です)

【お申込み・お問合せ先】

立山黒部ジオパーク協会事務局

TEL: 076-431-2089 E-mail: info@tatekuro.jp







■たてくろ 見どころ紹介コーナー

水を公平に分ける先人の知恵 ~円の中心から湧きあがる豊富な水~

魚津市東山には、日本一美しい円筒分水槽と評されている東山円筒分水槽があります。円筒分水槽とは下流の用水へ水を分けるための施設で、分水槽の上部に分配先それぞれの灌漑面積に応じて仕切が設けてあります。礫や砂の多い扇状地では水が地下にしみ込みやすく、雨が少ない夏場には水涸れをよく起こします。そのため、過去には水争いが絶えませんでした。片貝川流域ではこの水問題を解決するため、扇状地扇頂部につくられた黒谷頭首工で一括して水を取り入れ、貝田新円筒分水槽で左岸側で使用する水と右岸側で使用



東山円筒分水槽

する水に分けています。右岸側用の水は片貝川の下をくぐり、東山円筒分水槽でさらに東山、青柳、天神野 用水へ分けられています。この仕組みによって、水量に関係なく公平に水を分配できるようになりました。

■協会会員企業の紹介

立山黒部ジオパーク協会の会員企業を、五十音順(昇順、降順で各1社ずつ)でご紹介していきます。



総 合 ビ ル メ ン テ ナ ン ス ファシリティマネジメント

- ●清掃業務(日常・定期・特殊)
- ●ビル設備の保守及び点検
- ●省エネコンサルティング
- 警 備 業 務 (施 設 警 備 ・ 機 械 警 備)

富山市二口町三丁目5番地の5 TEL 076-421-6924

www.alcot.co.jp



